

所 報

(2020.12.1 ~ 12.31)

- 研究員人事 (12月1日付)
研究補助員 (RA) 加藤 旭人

- 刊行物
『大原社会問題研究所雑誌』747号 (2021年1月)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	55	56	111
受 贈	54	0	54
合 計	109	56	165

□閲覧サービス

閲覧

開館日数	19日
閲覧者数	8名
貸出図書	46冊

コピーサービス

学外	7件	1,942枚
学内	1件	7枚

日 誌

- 2日 第33回国際労働問題シンポジウム「COVID-19
危機からより良い仕事の未来へ——産業別の
取組みと社会対話」(オンライン, 接続端末
数: 160件)
- 3日 HOSEI ミュージアム臨時運営委員会 (榎)
- 5日 『戦後失業対策事業・失業労働者関係資料集成』
(仮) 企画打合せ (榎)
- 8日 JPCOAR オープンアクセス講習会 (オンライ
ン, 参加者: 中村)
環境アーカイブズ資料整理研究会
「新入生ガイダンスについて」(報告: 鈴木宗
徳, 山本唯人, 小林直毅)
- 9日 所員会議 (オンライン)
- 11日 JPCOAR オープンアクセス講習会 (オンライ
ン, 参加者: 中村, 藤原)
研究開発センター主催書庫環境整備 (カビ対策)

- 講習会 (オンライン, 参加者: 内藤課長,
野々村主任, 中村, 菊地, 田丸, 大岩)
- 12日 社会政策学会・労働史部会 2020年度第2回 (共
催: 法政大学大原社会問題研究所社会問題史
研究会) (オンライン)
霜田菜津実 (立教大学大学院経済学研究科博
士後期課程)「1970～80年代における金属機
械産業の労働組合による賃金水準平準化の取
組」, 金子良事 (阪南大学経済学部准教授)
「社会政策分野における研究・政策・実践の
概史」
- 16日 運営委員会
議題① 次年度の運営委員会委員について
② オンラインイベント「オールヒスト
リーセミナー」(主催: 社会政策学会労
働史部会, 3月19日, 20日)の大原社
会問題研究所の共催について
③ その他
- 22日 HOSEI ミュージアムデジタルアーカイブ運営
小委員会 (榎)
- 23日 大原社会問題研究所 100年史オールヒスト
リー: 是枝洋さん (オンライン)
月例研究会 (オンライン)
伊東林蔵 (大原社会問題研究所兼任研究員)
「ヴェルサイユ体制下ドイツ鉄鋼業の再編
——フリック・コンツェルンとヴァイマル
政府の関係を中心に」
- 26日 冬季休業 (～1月6日)
- 27日 大原社会政策研究会 (第77回) (オンライン)
渡邊健一 (日本地域福祉研究所)「当事者視
点から読み解く「読書バリアフリー基本計画」
——日本点字制定 130周年に策定された意義
と課題」

大原社会問題研究所雑誌

No.750 (2021年4月号)

2021年4月1日発行

定価 (本体 926円 + 税), 年間購読 12,000円 (税込)

編集 (兼) 発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所 長 鈴木 玲

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042 (783) 2305

印刷 株式会社相模プリント

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会労働問題に関する学術研究雑誌で、「論文」「資料紹介」「調査報告」の投稿を受け付けております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。[2019.10.1 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000 字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて無記名で本文に入ってください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、次の各 3 部を下記宛てに郵送してください。

A：投稿原稿（審査用原稿）

B：投稿原稿の要旨（1,000 字程度）

C：表題紙

C の表題紙に記載する事項は、投稿原稿の、①題名、②目次、③分量（図表を除く文字数（スペースを含める））、④図表の有無と数、⑤著者の氏名（よみがなを併記）、⑥肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑦略歴、⑧連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

7. 投稿者は、投稿原稿の郵送後、B：投稿原稿の要旨、C：表題紙を、下記宛てに電子メール（もしくは FAX）で送信してください。件名は【投稿(お名前)】としてください。

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会宛

【郵送先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所

【メールアドレス】ohara-journal@hosei.ac.jp 【FAX】042-783-2311

投稿原稿 執筆要領

1. A 4 判の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江（2017）「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705 号、29-43 頁。

原伸子（2015）「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。

Suzuki, Akira（2016）“Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.



有斐閣新刊案内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17/Tel.03-3265-6811
http://www.yuhikaku.co.jp/
(表示価格は税別。消費税込みの金額が定価です。)

有斐閣現代心理学辞典

A5判 六四〇〇円

子安増生・丹野義彦・箱田裕司監修 基礎・応用まで
全領域を網羅し、最新動向もおさえた圧倒的項目数。
簡潔・平易な解説と、充実の見よ項目・関連項目・索
引リストが、初学者も実務家まで幅広い学習者の系統的・有機的な学び
をサポート。公認心理師時代必須の「法/施設/専門職名」項目も収録。
二〇二二年月刊



変貌する日本のイノベーション・システム

鈴木潤・安田聡子・後藤晃編 日本のイノベーション・システムに
関して、産業（企業）、大学、政府の各セクターから実態に迫っていく
課題を浮き彫りにする労作。
A5判 四一〇〇円 二〇二二年月刊

生産技術システムの国際水平移転

藤岡豊著 ●トランスナショナル経営の実現に向けて 複数の生産拠点
を持つ多国籍企業内で、本社を媒介せず海外子工場間で直接に技術移転
が行われる例が増えつつある現状を捉え、その経営的な意義を問う。
A5判 五〇〇円 二〇二二年三月刊

日本の企業間取引

金容度著 ●市場性と組織性の歴史構造 19世紀から現在に至る一〇〇
年以上の歴史のなかで、日本企業の企業間取引関係が、どのように形成
され、どのように展開されてきたのか——その特殊性と普遍性を「市場
性と組織性の絡み合い」という視点に立って分析する力作。
A5判 予価七八〇〇円 二〇二二年四月刊

「シカゴ学派」の社会学

松本康著 ●都市研究と社会学理論 アメリカ社会学はシカゴで生まれた。
近代化による大都市の勃興、そこで生じた都市問題を解決すべく大学で
組織された「社会調査の専門家」が、時代とともに盛衰を経て、独自の
理論的発展を遂げていく。学問のアイデンティティを問う歴史的考察。
A5判 予価三五〇〇円 二〇二二年四月刊

社会倫理学講義

稲葉振一郎著 ロボット・AIとの共存、動物との権利闘争は、人間が
いかなる存在なのかを私たち自身にあらためて突きつけている。哲学、
そして倫理学はそうした多種多様な問いに応えるべく文明の歩みとともに
に長く議論を紡いできた。第一人者による講義形式の、体系的な入門書。
(有斐閣アルマ) 一九〇〇円 二〇二二年三月刊

法律文化社

京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町71 ●表示は税込価格です
https://www.hou-bun.com/

人生100年時代の年金制度

日本年金学会編 ●歴史的考察と改革への視座 ●A5判/258頁/4290円

生産年齢人口や総人口の推移をはじめとして年金制度を取り巻く情勢は
変遷してきた。歴史的経緯としての年金制度改革の展開を踏まえ、人生
100年時代における年金制度のあり方につき、主要論点に絞り込み実
証的かつ理論的に考察。公的年金制度7論考、私的年金制度6論考の2
部構成。日本年金学会創立40周年記念論文集。

第I部 公的年金制度

- 1 不確実性と公的年金保険の過去、現在、未来……………権丈善一
- 2 長期就労と年金制度……………西村淳
- 3 短時間労働者への厚生年金保険の適用拡大……………藤森克彦
- 4 公的年金財政……………坂本純一
- 5 女性と年金……………吉中季子
- 6 賦課方式の年金における積立金運用と資金循環構造……………玉木伸介
- 7 公的年金制度への共感を高める年金教育の在り方……………阿部公一

第II部 私的年金制度

- 8 老後所得保障における公私役割分担論……………石田成則
- 9 私的年金制度を取り巻く環境の変化と課題……………菅谷和宏
- 10 私的年金と税制……………谷内陽一
- 11 企業と退職給付制度との関わり……………上田憲一郎
- 12 企業年金の資産運用……………村上正人
- 13 将来生活設計と年金制度……………原佳奈子

SDGS時代の国際教育開発学

●4180円

●ラーニング・アズ・ディベロップメント ダニエル・A・ワグナー著／前田美子訳
教育開発学の重鎮によつて著された教育開発の体系的概説書の邦訳。
「教育開発とは何か」など、広く世界を見渡し、歴史を踏まえ、エビ
デンスに基づき多角的・学際的な視点から解説。

18歳から考える日本の政治(第3版)

五十嵐仁著 ●2530円

主権者の政治を見る目を鍛えるねらいのもと、私たちと政治の関係、
戦後政治の展開と争点を豊富な資料を交え検証する好評書の第3版。
第2次安倍政権以降の政治や政党の変化など最新の政治動向を盛り
込み、戦前から今日に至るまでの日本政治を概観する。